注３ **大学番号：私立270**

届出

［令和２年度設置］

計画の区分： 学部の学科の設置

注１

宝塚医療大学　和歌山保健医療学部
リハビリテーション学科

注２

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人平成医療学園

令和２年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名　学長企画室長（ガクチョウキカクシツチョウ）　中塚（ナカツカ）　克浩（カツヒロ）

電話番号　072－736－8600

（夜間）　072－736－8600

ＦＡＸ　072－736－8659

ｅ－mail　nakatukak@tumh.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「○○大学大学院　・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例）　○○大学　△△学部　□□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・大学の設置の場合：「○○大学」
・学部の設置の場合：「○○大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「○○大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「○○大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院　○○研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院　○○研究科　○○専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「○○大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和２年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

和歌山保健医療学部

<リハビリテーション学科>　　ページ

1．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

2．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

3．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13

4．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14

5．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15

6．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　16

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人平成医療学園

（2）大　学　名

宝塚医療大学

（3）調査対象大学等の位置

〒666－0162
（兵庫県宝塚市花屋敷緑ガ丘1）

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（キシノ　マサミ） 岸野　雅方 （平成13年4月）	該当なし	
学　　長	（キシノ　マサミ） 岸野　雅方 （平成27年11月）	該当なし	
学 部 長	（キシオカ　シロウ） 岸岡　史郎 （令和2年4月）	該当なし	
学科長等	（コバヤシ　シゲル） 小林　茂 （令和2年4月）	該当なし	

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和元年度に報告済の内容　→（元）
令和２年度に報告する内容　→（２）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は、平成２８年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和２年度までの５年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
和歌山保健医療学部 リハビリテーション学科 学士（保健医療学）	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）	4年	100人	年次 －人	400人	

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A　入学定員	－人 （－） [－]	－人	－人 （－） [－]	－人	－人 （－） [－]	－人	－人 （－） [－]	－人	100人 （－） [－]	0人	1.02倍	－	
志願者数	－ （－） [－]	－ （－） [－]	－ （－） [－]	－ （－） [－]	－ （－） [－]	－ （－） [－]	－ （－） [－]	－ （－） [－]	190 （－） [－]	－ （－） [－]			
受験者数	－ （－） [－]	－ （－） [－]	－ （－） [－]	－ （－） [－]	－ （－） [－]	－ （－） [－]	－ （－） [－]	－ （－） [－]	187 （－） [－]	－ （－） [－]			
合格者数	－ （－） [－]	－ （－） [－]	－ （－） [－]	－ （－） [－]	－ （－） [－]	－ （－） [－]	－ （－） [－]	－ （－） [－]	114 （－） [－]	－ （－） [－]			
B　入学者数	－ （－） [－]	－ （－） [－]	－ （－） [－]	－ （－） [－]	－ （－） [－]	－ （－） [－]	－ （－） [－]	－ （－） [－]	102 （－） [－]	－ （－） [－]			
入学定員超過率 B／A									1.02				

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　[　　]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和２年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学年	平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	102 [－] (－)	0 [－] (－)	
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計	－ [－] (－)		－ [－] (－)		－ [－] (－)		－ [－] (－)		102 [－] (－)		

・令和２年５月１日　公表

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　[　]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（ ）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分／対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
			入学した年度	退学者数	うち留学生数	
平成28年度	－ 人	－ 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
平成29年度	－ 人	－ 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	－ 人	－ 人	
平成30年度	－ 人	－ 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	－ 人	－ 人	
			平成30年度	－ 人	－ 人	
令和元年度	－ 人	－ 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	－ 人	－ 人	
			平成30年度	－ 人	－ 人	
			令和元年度	－ 人	－ 人	
令和2年度	102 人	0 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	－ 人	－ 人	
			平成30年度	－ 人	－ 人	
			令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合　計		0 人		0 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

平成28年度の退学者数(a) ／ 平成28年度の在学者数(b) ＝ － ／ － ＝ #VALUE! %

【平成29年度】

平成29年度の退学者数(a) ／ 平成29年度の在学者数(b) ＝ － ／ － ＝ #VALUE! %

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) ／ 平成30年度の在学者数(b) ＝ － ／ － ＝ #VALUE! %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) ／ 令和元年度の在学者数(b) ＝ － ／ － ＝ #VALUE! %

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) ／ 令和2年度の在学者数(b) ＝ 0 ／ 102 ＝ 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜和歌山保健医療学部　リハビリテーション学科＞

（1）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
学部共通	哲学	1前		2				1			
	東洋思想論	1前		2				1			
	日本の文化	1後		2							兼1
	文化人類学	1後		2							兼1
	日本国憲法	1前		2							兼1
	社会と法	1後		2							兼1
	社会福祉学	1前		2			1				
	わかやま未来学	1前		2							兼1
	統計学	1前		2		1					
	数学	1前	2			1					
	物理学＊1	1後		2		2					
	化学	1前		2		1					
	生物学＊2	1後		1		1					
	英語	1前	1					1			
	医学英語Ⅰ	1後	1					1			
	医学英語Ⅱ	2後		1							兼1
	英会話	1後		1							兼1
	情報処理演習Ⅰ	1前	1				1				
	情報処理演習Ⅱ	1後	1				1				
	健康と体力づくり	2前		2				1			
	スポーツトレーニング学	2前		2				1			
	健康トレーニング演習	2後		1				1			
	健康スポーツ科学演習	3後		1				1			
	バイオメカニクス	3前		2				1			
	体育実技Ⅰ	1前	1					1			
	体育実技Ⅱ	1後		1				1			
	トレーナー実習	3前		1				1			
	コミュニケーション演習	1後	1					1			
	心理学	2後		2							兼1
	医療経営学	4後		2							兼1
	メディカルツーリズム論	2前		2							兼1
	伝統医療論	1後		2							兼1
	薬膳食養概論	3前		2		1					
	基礎ゼミナール	1前	1					1			
	小計(34科目)	－	9	45		3	2	2	0		兼8
	解剖学	1前	2			1					
	解剖学演習Ⅰ	1前	1			1					
	解剖学演習Ⅱ	1後	1			1					
	解剖学演習Ⅲ	1後	1			1					
	生理学	1前	2			1					
	生理学演習Ⅰ	1後	1			1					
	生理学演習Ⅱ	2前	1			1					
	生理学演習Ⅲ	2後	1			1					
	解剖生理学実習	2後	1			1					
	公衆衛生学	2後		2							兼1
	病理学	2後	2			1					
	病理学演習	3前	1			1					
	人間発達学	1後	2								兼1
	運動発達学	2前	2								兼1
	栄養学	3前	2			1					
	薬理学	3前	1			1					

【令和２年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
学部共通	哲学	1前		2				1			
	東洋思想論	1前		2				1			
	日本の文化	1後		2							兼1
	文化人類学	1後		2							兼1
	日本国憲法	1前		2							兼1
	社会と法	1後		2							兼1
	社会福祉学	1前		2			1				
	わかやま未来学	1後		2							兼1
	統計学	1前		2		1					
	数学	1前	2			1					
	物理学＊1	1後		2		2					
	化学	1前		2		1					
	生物学＊2	1後		1		1					
	英語	1前	1					1			
	医学英語Ⅰ	1後	1					1			
	医学英語Ⅱ	2後		1							兼1
	英会話	1後		1							兼1
	情報処理演習Ⅰ	1前	1				1				
	情報処理演習Ⅱ	1後	1				1				
	健康と体力づくり	2前		2				1			
	スポーツトレーニング学	2前		2				1			
	健康トレーニング演習	2後		1				1			
	健康スポーツ科学演習	3後		1				1			
	バイオメカニクス	3前		2				1			
	体育実技Ⅰ	1後	1					1			
	体育実技Ⅱ	2前		1				1			
	トレーナー実習	3前		1				1			
	コミュニケーション演習	1後	1					1			
	心理学	2後		2							兼1
	医療経営学	4後		2							兼1
	メディカルツーリズム論	2前		2							兼1
	伝統医療論	1前		2							兼1
	薬膳食養概論	3前		2		1					
	基礎ゼミナール	1前	1					1			
	小計(34科目)	－	9	45		3	2	2	0		兼8
	解剖学	1前	2			1					
	解剖学演習Ⅰ	1前	1			1					
	解剖学演習Ⅱ	1後	1			1					
	解剖学演習Ⅲ	1後	1			1					
	生理学	1前	2			1					
	生理学演習Ⅰ	1後	1			1					
	生理学演習Ⅱ	2前	1			1					
	生理学演習Ⅲ	2後	1			1					
	解剖生理学実習	2後	1			1					
	公衆衛生学	2後		2							兼1
	病理学	2後	2			1					
	病理学演習	3前	1			1					
	人間発達学	1後	2								兼1
	運動発達学	2前	2								兼1
	栄養学	3前	2			1					
	薬理学	3前	1			1					

専門基礎科目	リハビリテーション医学	2前	2								兼1
	内科学	2後	2								兼1
	神経内科学	2前	2			1					
	神経内科学演習	2後	1			1					
	整形外科学	2前	2								兼1
	整形外科学演習	2後	1								兼1
	小児科学	2前	2								兼1
	画像診断学	2前	1								兼1
	精神医学	3前	2								兼1
	臨床検査学	3前	1								兼1
	老年医学	4後		2							兼1
	予防医学	4後	2			1					
	救急措置法演習	3後	1								兼1
	リハビリテーションの理念	1前	2			1					
	保健医療福祉概論	3前		2			1				
	チーム医療論	3後		2		1					
	リスクマネージメント論	1後	2			1	1				
	医療情報学演習	3後		1				1			
	管理運営学	3後		2		2					
	小計(35科目)	－	44	11		8	2	1	0	0	兼12
	運動学＊1	1後		2			1				
	運動学実習＊1	2前		1			1				
	病態運動学演習＊1	3後		1		1					
	理学療法概論＊1	1後		1		1					
	生体活動計測・分析法演習＊1	2後		1			1				
	理学療法研究の基礎＊1	2後		1				1			
	理学療法研究法演習Ⅰ＊1	3後		1		3	2	2	2		
	理学療法研究法演習Ⅱ＊1	4後		1		3	2	2	2		
	理学療法管理学＊1	3後		2		1					
	評価学総論＊1	1前		2		1					
	検査測定実習Ⅰ＊1	1後		1			1	1			
	検査測定実習Ⅱ＊1	2前		1			1	1			
	評価学各論＊1	3前		2			1		1		
	応用評価学演習＊3	3後		1				1	1		
	運動療法学概論＊1	1後		2					1		
	運動器障害理学療法学＊1	2後		2		1					
	運動器障害理学療法学実習＊1	3前		1		1			1		
	物理療法学＊1	3前		2					1		
	日常生活動作学実習＊1	3後		1			1				
	応用運動器障害理学療法学演習＊3	4後		1		1			1		
	脊髄障害理学療法学＊1	2後		2				1			
	脊髄障害理学療法学実習＊1	3前		1				1	1		
	神経系障害理学療法学＊1	3前		2		1					
	神経系障害理学療法学実習＊1	3後		1		1			1		
	応用神経系障害理学療法学演習＊3	4後		1				1	1		
	発達障害理学療法学＊1	2後		2		1					
	発達障害理学療法学実習＊1	3前		1		1			1		
	応用発達障害理学療法学演習＊3	4後		1		1			1		
	呼吸・循環障害理学療法学Ⅰ＊1	2後		2		1					
	呼吸・循環障害理学療法学Ⅱ＊3	3後		2		1					
	呼吸・循環障害理学療法学実習＊1	3前		1		1		1			
	応用呼吸・循環障害理学療法学演習＊3	4後		1		1					
	代謝疾患理学療法学＊1	3後		1				1			
	神経筋疾患理学療法学＊1	3後		1			1				
	臨床理学療法学演習Ⅰ＊1	4後		1					1		
	臨床理学療法学演習Ⅱ＊1	4後		1			1				
	義肢装具学＊1	2前		2		1					
	義肢装具学実習＊1	2後		1		1		1			
	高齢者理学療法学演習＊1	3前		1			1				
	生活環境学演習＊1	3後		1					1		

専門基礎科目	リハビリテーション医学	2前	2								兼1
	内科学	2後	2								兼1
	神経内科学	2前	2			1					
	神経内科学演習	2後	1			1					
	整形外科学	2前	2								兼1
	整形外科学演習	2後	1								兼1
	小児科学	2前	2								兼1
	画像診断学	2前	1								兼1
	精神医学	3前	2								兼1
	臨床検査学	3前	1								兼1
	老年医学	4後		2							兼1
	予防医学	4後	2			1					
	救急措置法演習	3後	1								兼1
	リハビリテーションの理念	1前	2			1					
	保健医療福祉概論	3前		2			1				
	チーム医療論	3後		2		1					
	リスクマネージメント論	1後	2			1	1				
	医療情報学演習	3後		1				1			
	管理運営学	3後		2		2					
	小計(35科目)	－	44	11		8	2	1	0	0	兼12
	運動学＊1	1後		2			1				
	運動学実習＊1	2前		1			1				
	病態運動学演習＊1	3後		1		1					
	理学療法概論＊1	1後		1		1					
	生体活動計測・分析法演習＊1	2後		1			1				
	理学療法研究の基礎＊1	2後		1				1			
	理学療法研究法演習Ⅰ＊1	3後		1		3	2	2	2		
	理学療法研究法演習Ⅱ＊1	4後		1		3	2	2	2		
	理学療法管理学＊1	3後		2		1					
	評価学総論＊1	1前		2		1					
	検査測定実習Ⅰ＊1	1後		1			1	1			
	検査測定実習Ⅱ＊1	2前		1			1	1			
	評価学各論＊1	3前		2			1		1		
	応用評価学演習＊3	3後		1				1	1		
	運動療法学概論＊1	1後		2					1		
	運動器障害理学療法学＊1	2後		2		1					
	運動器障害理学療法学実習＊1	3前		1		1			1		
	物理療法学＊1	3前		2					1		
	日常生活動作学実習＊1	3後		1			1				
	応用運動器障害理学療法学演習＊3	4後		1		1			1		
	脊髄障害理学療法学＊1	2後		2				1			
	脊髄障害理学療法学実習＊1	3前		1				1	1		
	神経系障害理学療法学＊1	3前		2		1					
	神経系障害理学療法学実習＊1	3後		1		1			1		
	応用神経系障害理学療法学演習＊3	4後		1				1	1		
	発達障害理学療法学＊1	2後		2		1					
	発達障害理学療法学実習＊1	3前		1		1			1		
	応用発達障害理学療法学演習＊3	4後		1		1			1		
	呼吸・循環障害理学療法学Ⅰ＊1	2後		2		1					
	呼吸・循環障害理学療法学Ⅱ＊3	3後		2		1					
	呼吸・循環障害理学療法学実習＊1	3前		1		1		1			
	応用呼吸・循環障害理学療法学演習＊3	4後		1		1					
	代謝疾患理学療法学＊1	3後		1				1			
	神経筋疾患理学療法学＊1	3後		1			1				
	臨床理学療法学演習Ⅰ＊1	4後		1					1		
	臨床理学療法学演習Ⅱ＊1	4後		1			1				
	義肢装具学＊1	2前		2		1					
	義肢装具学実習＊1	2後		1		1		1			
	高齢者理学療法学演習＊1	3前		1			1				
	生活環境学演習＊1	3後		1					1		

専門科目	地域理学療法学演習＊1	3後		1			1				
	レクリエーション演習＊3	3後		2				1			
	臨床見学実習＊1	2前		2		3	2	2	2		
	臨床評価実習＊1	3後		4		3	2	2	2		
	総合臨床実習＊1	4前		14		3	2	2	2		
	運動学＊2	1後		2		1					
	運動学実習＊2	2前		1		1					
	作業療法概論＊2	1後		1		1					
	生体活動計測・分析法演習＊2	2後		1				1			
	作業療法研究の基礎＊2	2後		1					1		
	作業療法研究法演習Ⅰ＊2	3後		1		2		1	3		
	作業療法研究法演習Ⅱ＊2	4後		1		2		1	3		
	作業療法管理学＊2	2後		2		1					
	評価学総論＊2	1前		2		1					
	身体障害作業療法評価学＊2	1後		1				1			
	精神障害作業療法評価学＊2	2前		1		1					
	発達障害作業療法評価学＊2	2後		1					1		
	高次脳機能障害作業療法評価学＊2	3後		1					1		
	応用評価学演習＊4	3後		1		1					
	日常生活活動学＊2	1後		2				1			
	身体障害作業療法学総論＊2	2前		2				1			
	精神障害作業療法学総論＊2	2後		2		1					
	老年期障害作業療法学総論＊2	3前		2					1		
	発達障害作業療法学総論＊2	3前		2					1		
	身体障害作業療法治療学各論＊2	3後		2					1		
	精神障害作業療法治療学各論＊2	3後		2		1					
	老年期障害作業療法治療学各論＊2	3後		2					1		
	発達障害作業療法治療学各論＊2	3後		2					1		
	義肢装具学＊2	2後		2					1		
	臨床作業療法学演習Ⅰ＊2	4後		1					1		
	臨床作業療法学演習Ⅱ＊2	4後		1					1		
	身体障害作業療法治療学実習＊2	3前		1				1			
	精神障害作業療法治療学実習＊2	3前		1		1					
	老年期障害作業療法治療学実習＊2	3前		1					1		
	発達障害作業療法治療学実習＊2	3前		1					1		
	応用身体障害作業療法治療学演習＊4	3後		1					1		
	応用精神障害作業療法治療学演習＊4	3後		1		1					
	応用老年期障害作業療法治療学演習＊4	3後		1					1		
	応用発達障害作業療法治療学演習＊4	3後		1					1		
	地域とくらしの健康＊2	3後		2		1					
	生活環境学演習＊2	3前		1		1					
	地域作業療法学演習＊2	3後		1					1		
	レクリエーション演習＊4	3後		1					1		
	臨床見学実習＊2	2前		2		2		1	3		
	臨床評価実習＊2	3後		4		2		1	3		
	総合臨床実習＊2	4前		16		2		1	3		
	小計(86科目)	－	0	150	0	5	2	3	5	0	兼0
合計(155科目)		－	53	206	0	10	2	5	5	0	兼25

専門科目	地域理学療法学演習＊1	3後		1			1				
	レクリエーション演習＊3	3後		2				1			
	臨床見学実習＊1	2前		2		3	2	2	2		
	臨床評価実習＊1	3後		4		3	2	2	2		
	総合臨床実習＊1	4前		14		3	2	2	2		
	運動学＊2	1後		2		1					
	運動学実習＊2	2前		1		1					
	作業療法概論＊2	1後		1		1					
	生体活動計測・分析法演習＊2	2後		1				1			
	作業療法研究の基礎＊2	2後		1					1		
	作業療法研究法演習Ⅰ＊2	3後		1		2		1	3		
	作業療法研究法演習Ⅱ＊2	4後		1		2		1	3		
	作業療法管理学＊2	2後		2		1					
	評価学総論＊2	1前		2		1					
	身体障害作業療法評価学＊2	1後		1				1			
	精神障害作業療法評価学＊2	2前		1		1					
	発達障害作業療法評価学＊2	2後		1					1		
	高次脳機能障害作業療法評価学＊2	3後		1					1		
	応用評価学演習＊4	3後		1		1					
	日常生活活動学＊2	1後		2				1			
	身体障害作業療法学総論＊2	2前		2				1			
	精神障害作業療法学総論＊2	2後		2		1					
	老年期障害作業療法学総論＊2	3前		2					1		
	発達障害作業療法学総論＊2	3前		2					1		
	身体障害作業療法治療学各論＊2	3後		2					1		
	精神障害作業療法治療学各論＊2	3後		2		1					
	老年期障害作業療法治療学各論＊2	3後		2					1		
	発達障害作業療法治療学各論＊2	3後		2					1		
	義肢装具学＊2	2後		2					1		
	臨床作業療法学演習Ⅰ＊2	4後		1					1		
	臨床作業療法学演習Ⅱ＊2	4後		1					1		
	身体障害作業療法治療学実習＊2	3前		1				1			
	精神障害作業療法治療学実習＊2	3前		1		1					
	老年期障害作業療法治療学実習＊2	3前		1					1		
	発達障害作業療法治療学実習＊2	3前		1					1		
	応用身体障害作業療法治療学演習＊4	3後		1					1		
	応用精神障害作業療法治療学演習＊4	3後		1		1					
	応用老年期障害作業療法治療学演習＊4	3後		1					1		
	応用発達障害作業療法治療学演習＊4	3後		1					1		
	地域とくらしの健康＊2	3後		2		1					
	生活環境学演習＊2	3前		1		1					
	地域作業療法学演習＊2	3後		1					1		
	レクリエーション演習＊4	3後		1					1		
	臨床見学実習＊2	2前		2		2		1	3		
	臨床評価実習＊2	3後		4		2		1	3		
	総合臨床実習＊2	4前		16		2		1	3		
	小計(86科目)	－	0	150	0	5	2	3	5	0	兼0
合計(155科目)		－	53	206	0	10	2	5	5	0	兼25

卒業要件及び履修方法
【科目名の後ろの記号(＊1～＊4)の適応】 ＊1は理学療法学専攻では必修とする科目(学部共通科目については、作業療法学専攻の学生も履修可能。)を指す。 ＊2は作業療法学専攻では必修とする科目(学部共通科目については、理学療法学専攻の学生も履修可能。)を指す。 ＊3は理学療法学専攻の選択とする科目(作業療法学専攻の学生は履修不可。)を指す。 ＊4は作業療法学専攻の選択とする科目(理学療法学専攻の学生は履修不可。)を指す。 【卒業要件】 学部共通科目、専門基礎科目、専門科目の各授業科目から合計129単位以上を修得すること。 各専攻における卒業に必要とする単位数は次のとおり。 ① 理学療法学専攻:学部共通科目17単位以上(一般教育科目の人文科目から2単位以上、社会科目から2単位以上、自然科目から4単位以上、外国語科目から2単位以上、情報処理科目から2単位、スポーツ・健康科学の講義及び演習科目から2単位以上、実技科目から1単位以上、総合教養科目から2単位以上を取得(＊1の科目を含む。))、専門基礎科目44単位以上、専門科目68単位以上(＊1、＊3の科目から選択。)を取得し、129単位以上を修得すること。 ② 作業療法学専攻:学部共通科目16単位以上((一般教育科目の人文科目から2単位以上、社会科目から2単位以上、自然科目から3単位以上、外国語科目から2単位以上、情報処理科目から2単位、スポーツ・健康科学の講義及び演習科目から2単位以上、実技科目から1単位以上、総合教養科目から2単位以上を取得(＊2の科目を含む。))、専門基礎科目44単位以上、専門科目69単位以上(＊2、＊4の科目から選択。)を取得し、129単位以上を修得すること。 【履修方法】 履修科目の登録の上限:48単位(年間)

卒業要件及び履修方法
【科目名の後ろの記号(＊1～＊4)の適応】 ＊1は理学療法学専攻では必修とする科目(学部共通科目については、作業療法学専攻の学生も履修可能。)を指す。 ＊2は作業療法学専攻では必修とする科目(学部共通科目については、理学療法学専攻の学生も履修可能。)を指す。 ＊3は理学療法学専攻の選択とする科目(作業療法学専攻の学生は履修不可。)を指す。 ＊4は作業療法学専攻の選択とする科目(理学療法学専攻の学生は履修不可。)を指す。 【卒業要件】 学部共通科目、専門基礎科目、専門科目の各授業科目から合計129単位以上を修得すること。 各専攻における卒業に必要とする単位数は次のとおり。 ① 理学療法学専攻:学部共通科目17単位以上(一般教育科目の人文科目から2単位以上、社会科目から2単位以上、自然科目から4単位以上、外国語科目から2単位以上、情報処理科目から2単位、スポーツ・健康科学の講義及び演習科目から2単位以上、実技科目から1単位以上、総合教養科目から2単位以上を取得(＊1の科目を含む。))、専門基礎科目44単位以上、専門科目68単位以上(＊1、＊3の科目から選択。)を取得し、129単位以上を修得すること。 ② 作業療法学専攻:学部共通科目16単位以上((一般教育科目の人文科目から2単位以上、社会科目から2単位以上、自然科目から3単位以上、外国語科目から2単位以上、情報処理科目から2単位、スポーツ・健康科学の講義及び演習科目から2単位以上、実技科目から1単位以上、総合教養科目から2単位以上を取得(＊2の科目を含む。))、専門基礎科目44単位以上、専門科目69単位以上(＊2、＊4の科目から選択。)を取得し、129単位以上を修得すること。 【履修方法】 履修科目の登録の上限:48単位(年間)

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- １ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
- 不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
- 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（1）－②授業科目表に関する変更内容

【令和２年度】

・わかやま未来学について、非常勤講師の本務の都合により、今年度のみ実施時期を前期から後期に変更した。
・体育実技Ⅰ・Ⅱについて、コロナウィルスの拡大に伴う休校措置により、当該授業が実施できない状況であることから、令和２年度入学生のみ開講時期を変更した。
・伝統医療論について、わかやま未来学の開講時期変更を受け、今年度のみ開講時期を後期から前期に変更した。

（注）・　２（１）－① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（2） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
37 科目	118 科目	0 科目	155 科目	37 科目 [0]	118 科目 [0]	0 科目 [0]	155 科目 [0]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（6） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{155} = 0\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（3）未開講科目」と「（4）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区　　分		内　　容				備考
(1) 校地等	区　　分	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	6,408.32㎡	0㎡	0㎡	6,408.32㎡	借用面積2,727.67㎡
	運動場用地	18,912.12㎡	0㎡	0㎡	18,912.12㎡	借用面積 538.70㎡
	小　　計	25,320.44㎡	0㎡	0㎡	25,320.44㎡	借用面積3,262.37㎡
	そ の 他	27,394.56㎡	0㎡	0㎡	27,394.56㎡	借用面積 737.63㎡
	合　　計	52,715.00㎡	0㎡	0㎡	52,715.00㎡	借用面積 4,000.00㎡

(2) 校　　舎	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	
	17,918.43㎡ (17,918.43㎡)	0㎡ (　　0㎡)	0㎡ (　　0㎡)	17,918.43㎡ (17,918.43㎡)	

(3) 教　室　等	講　義　室	演　習　室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
	12室	0室	12室	1室 (補助職員　0人)	0室 (補助職員　0人)	

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室　　数	
	和歌山保健医療学部　リハビリテーション学科	18　　室	

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図　書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標　本 点	
	和歌山保健医療学部	7,095〔204〕 ~~(3,991〔82〕)~~ (3,918〔82〕)	21〔6〕 (　26〔6〕)	2〔0　〕 (　2〔0　〕)	220 (42)	5,340 ~~(3,738)~~ (4,321)	~~51~~ 74 ~~(51)~~ (74)	図書について、廃刊となった書籍等が発生したため予算内で導入図書を見直した。(2) 機械・器具について、コロナウィルスの拡大に伴い当初導入予定であった機器等の導入が困難な物品が生じたため、同等機器への変更等を行った。(2) 標本について、教育効果向上のため、導入点数を増加した(2)
	計	7,095〔204〕 ~~(3,991〔82〕)~~ (3,918〔82〕)	21〔6〕 (　26〔6〕)	2〔0　〕 (　2〔0　〕)	220 (42)	5,340 ~~(3,738)~~ (4,321)	~~51~~ 74 ~~(51)~~ (74)	

(6) 図　書　館	面　　積	閲覧座席数	収納可能冊数	
	168.6㎡	63	10,000	

(7) 体　育　館	面　　積	体育館以外のスポーツ施設の概要		
	0㎡	多目的グラウンド		

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区　　分	開設年度	完成年度	区　　分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員１人当り研究費等	450千円	450千円	図書購入費	~~17,400千円~~ 0円	~~13,200千円~~ 30,600千円	5,400千円	図書購入費について、開設前年度中に予定していた図書の納入が行えなかったため、支払いを開設年度に繰り越した(2) 設備購入費について、導入機器の変更に伴い、支払額に変更が生じた(2)
		共同研究費等	3,000千円	4,000千円	設備購入費	~~132,000千円~~ 192,857千円	72,000千円	7,000千円	

	学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
		1,800千円	1,500千円	1,550千円	1,550千円	－千円	－千円
	学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常経費補助金、雑収入、教育付帯事業収入　等					

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和２年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（２）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4．既設大学等の状況

大学の名称	宝塚医療大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
保健医療学部	4	160	－	640	学士（保健医療学）	1.05	1.16	―	平成23	兵庫県宝塚市花屋敷緑ガ丘1	
理学療法学科	4	70	－	280	学士（保健医療学）	1.06	1.06	―	平成23	同上	
柔道整復学科	4	60	－	240	学士（保健医療学）	1.06	1.28	―	平成23	同上	
鍼灸学科	4	30	－	120	学士（保健医療学）	1.00	1.17	―	平成23	同上	
和歌山保健医療学部	4	100	－	400	学士（保健医療学）	1.02	1.02	―	令和2	和歌山県和歌山市中之島2252	
リハビリテーション学科	4	100	－	400	学士（保健医療学）	1.02	1.02	―	令和2	同上	

大学の名称											備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和２年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （平成31年）	該当なし	留意事項		履行中	

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

６　その他全般的事項

＜和歌山保健医療学部　リハビリテーション学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

FSD推進委員会の委員選出をおこなった

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和２年度の開催実績はない（令和２年６月上旬に開催予定）

ｃ　委員会の審議事項等

令和２年度のFSD研修会の予定、授業評価アンケートの設問内容の見直し、等

②　実施状況

ａ　実施内容

令和２年度開設のため、実績なし。

ｂ　実施方法

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

当初、５月に実施予定であったが、コロナウィルスの拡大に伴い、前期末（９月）頃実施予定。

ｂ　教員や学生への公開状況、方法等

ホームページで公開予定

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

（委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。
併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。）

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

（4） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和２年度から開設のため、達成状況については評価出来る状況ではないが、募集活動については、入学定員を確保する共に、地元（和歌山県）出身者が９割を超えたことから、当該県における本学部への期待の高さが伺え、設置の趣旨に沿った募集活動が奏功したと考える。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和２年６月３０日 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上で公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・令和５年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和２年度）

a 公表予定の有無 〔 (有) ・ 無 〕

≪ａで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 〔 (調査結果公表後１ヶ月以内) ・ 公表後２～３ヶ月以内 ・ 公表後３ヶ月以降 〕

c 公表方法 〔 (ウェブサイトへの掲載) ・ その他（ ） 〕

≪ａで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 〔 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。